



## 長野県No.1 のもも・ネクタリン産地を守ろう！

### ◆生育状況と当面する重点作業について

現状の玉肥大は、作業進度・着果量によって肥大差がでている。

病害虫は、せん孔細菌病が、河川敷中心に発生がみられる。毛じ障害・うどんこ病の発生も散見されているため、病斑程度が軽く、下側寄りのものを残す。

1. 畦草等を中心にミカンキイロアザミウマが増えてくるので、こまめに除草を行う。
2. ハダニ類の発生が増える時期になる。高温乾燥傾向の場合は発生が倍増するので注意。  
発生が増加してからでは対策が取れないため、発生状況を観察し対策を徹底する。
3. 新梢が過繁茂になってくる時期なでの誘引・捻枝・摘心を行い、徒長枝整理を行う。併せて枝幹の日焼け防止対応策を行う。
4. 定期的なかん水の実施をする。干天が7～10日程度続いたら、樹冠下に集中し20～30mm程度のかん水を行なう。なお、高温が続く場合は、5～7日間隔で行う。
5. 配布されている「葉面散布肥料・特殊資材の使い方」を参考に葉面散布肥料を有効活用する。  
総合的な品質向上対策として、アミノ酸等のケルパック66、友果、オルガミン、モーニングシャイン等を利用する。

### 【もも薬剤防除】

#### ◆第9回薬剤散布について

1. 散布時期:7月6日(土)～10日(水) 《実際散布日記入 月 日》
2. 調合量:水1000当り ※混用順に記載。

農薬名	使用量	対象病害虫	収穫前
展着剤	10mℓ	—	—
モベントフロアブル	50mℓ	ハダニ類・アブラムシ類・カイガラムシ類	7日前
ナリアWDG	50g	灰星病・ホモプシス腐敗病	前日
(㊟ダイアジノン水和剤34)	100g	シンクイムシ類・カイガラムシ類	前日

3. 散布量:10a当り⇒5000以上

### 【ネクタリン薬剤防除】※もも・ネクタリン混植園

#### ◆第9回薬剤散布について

1. 散布時期:7月6日(土)～10日(水) 《実際散布日記入 月 日》
2. 調合量:水1000当り ※混用順に記載。

農薬名	使用量	対象病害虫	収穫前
展着剤	10mℓ	—	—
モベントフロアブル	50mℓ	ハダニ類・アブラムシ類・カイガラムシ類	7日前
ナリアWDG	50g	灰星病・ホモプシス腐敗病	前日
(㊟ダイアジノン水和剤34)	100g	シンクイムシ類・カイガラムシ類	21日前

3. 散布量:10a当り⇒5000以上

## 【第9回薬剤散布共通留意事項】

- ①収穫中・直前等の品種(たまき・なつき・アームキング～水野ネクタリン等)に飛散しないよう注意する。
- ②「収穫前日」となっている農薬の使用時期は、収穫24時間前までに散布が終わる事を意味する。
- ③ホモブシス腐敗病の心配が少ない園は、ナリア WDG に代えてプリントフロアブル25 2,000倍(水100ℓ 当り 50mℓ)を使用してもよい。
- ④シンクイムシ類・モモノゴマダラメイガの発生園、無袋栽培で害虫の発生が心配される園は、④ダイアジノン水和剤1,000倍を加用散布する。なお、ネクタリンは収穫前規制が21日前までなので、特にフレーザーパートップ等は注意する。

### ◆葉の健全化や光合成能力向上対策について

1. 散布肥料：グリーントップ 500倍 (100ℓ 当り 200g) 又はリーフマグ 1,000倍 (100ℓ 当り 100g)
2. 使用時期：6月に1～3回
3. 留意事項：単用散布を推奨するが、定期薬剤散布に混用してもよい。

### ◆除袋目安と管理について

1. 生育状況に十分考慮しながら、(高温干ばつで生育は遅れ、曇天多雨で生育は進む)別記の日程を目安に地色の抜け具合を観察し適期に除袋作業を進める。
2. 除袋時の注意
  - 1) 除袋が早すぎると、無袋のようになり、着色が遅れ、遅すぎると着色せず、軟化が早くなるので、注意する。水野ネクタリンは果実全体が黄色くなったら除袋する。
  - 2) 大玉から除袋を開始し、小玉や下枝・樹冠内部のものは上枝の除袋4～5日後に数回に分けて行う。最低でも上枝と下枝では生育差があるので2回程度に分けて除袋する。
  - 3) 除袋時に、曇雨天が続くような場合は、除袋時期の目安より、2日程度早めに始める。
  - 4) 老木や樹勢の弱い樹は、数日早く除袋する。樹勢の強い樹は、除袋を遅らせる。
3. 着色管理
  - 1) 葉摘みは、着色ムラをなくすため果実に密着している葉を摘む。1果当たり5枚程度限度とする。摘み過ぎないように注意する。摘み過ぎは、着色・糖度に悪影響が出やすい。また肌荒れ・日焼け・軟化等、品質低下になる場合がある。※もも二重袋を使用した場合は、葉摘みはしない。
  - 2) 反射シートは、有袋品種で、除袋直後から使用する。無袋品種で収穫予定日の10～14日前位から使用する。概ね着色したら軟化防止のためシートを外す。
  - 3) 支柱立て、誘引を行い樹内部に日の光が入るようにする。
  - 4) 着色先行となり、早採りを助長するので、熟度をよくみて判断し収穫する。
4. 除袋時期の目安 (あくまで目安です。今後の気象条件・自園の状況に合わせる)
  - 1) 目安の指標: 着色が容易な品種ほど除袋は遅めに。着色が困難な品種ほど早めにする。

品 種	時 期	目安の指標
たまき有袋	6月下旬頃	<u>収穫7～10日前頃</u>
なつき有袋	6月末頃	<u>収穫7～10日前頃</u>
水野ネクタリン	7月上旬頃	<u>収穫7～10日前頃</u>

## ◆もも・ネクタリン収穫前薬剤散布について

[1回目]

1. 散布時期:有袋除袋後又は無袋着色始め(収穫7~10日前頃)《実際散布日記入 月 日》
2. 調 合 量:水100ℓ 当り ※混用順に記載。

農薬名	使用量	対象病害虫	収穫前
ア プ ロ ー チ B I	1 0 0 mℓ	機能性展着剤	—
スクレアフロアブル	3 3 mℓ	灰星病・ホモプシス腐敗病	前日まで
アーデントフロアブル	5 0 mℓ	モモハモグリガ・ミカンキイロアザミウマ・シンクイムシ類・ハマキムシ類	前日まで

[2回目]

1. 散布時期:収穫開始2日前防除 《実際散布日記入 月 日》  
★降雨が多い場合は、非常に重要な防除。
2. 調 合 量:水100ℓ 当り ※混用順に記載。

農薬名	使用量	対象病害虫	収穫前
ア プ ロ ー チ B I	1 0 0 mℓ	機能性展着剤	—
(ディアナ W D G)	2 0 g	ミカンキイロアザミウマ・シンクイムシ類・ハマキムシ類	前日まで
オンリーワンフロアブル	5 0 mℓ	灰星病・ホモプシス腐敗病	前日まで

### 3. 1・2回目共通事項

- 1) 散 布 量:10a当り ⇒ 500ℓ 以上
- 2) 留意事項
  - ①「収穫前日」となっている農薬の使用時期は、収穫する24時間前までに散布が終わる事を意味する。
  - ②果柄部へも丁寧に薬剤散布を行う。
  - ③除袋直後(ほとんど果面に日照を受けない状態)は、葉害(褐色の流れサビ斑・縞状の着色不良)が出やすいので少なくとも1~2日程度は日照をあてて散布する。
  - ④腐敗果を発見したら被害を拡大させないために、園外に持ち出すか除去し土中に埋める。
  - ⑤ミカンキイロアザミウマ、シンクイムシ類、ハマキムシ類の発生が心配される園は、『収穫開始2日前防除』にディアナ WDG5,000 倍(水 100ℓ 当り 20g・収穫前日まで)を加用散布する。
  - ⑥スクレアフロアブルも代えて、ミギワ20フロアブル 4,000 倍(水 100ℓ 当り 25mℓ・収穫前日まで)を使用してもよい。
  - ⑦オンリーワンフロアブルに代えて、オーシャインフロアブル 2,000 倍(水 100ℓ 当り 50 mℓ・収穫前日まで)を使用してもよい。

## ◆ももの栽培日誌の提出について

### 1. 提出要領:7月1日(月)までに地区役員さんまで提出して下さい。

※役員さんは7月2日(火)までに各流通センター・共選所まで提出して下さい。

※たまきの出荷がある方は、6月28日(金)までに、直接各流通センター・共選所に提出して下さい。

※各個人より、各流通センター・共選所でも結構です。この場合、役員さんに直接持って行く事を連絡して下さい。

### 2. 留意事項

- ①今回提出用の栽培日誌を配布いたしますので、記入不備の無いよう注意下さい。
- ②第8回防除まで記入して下さい。
- ③日誌をチェックし法的に問題がある場合は、荷受けはできません。
- ④日誌のチェックを受けるまで、荷受・選果・販売はできません。
- ⑤提出日より桃の出荷が早まる場合は、各自で出荷前に提出してください。

《栽培に関する営農技術員への問合せ》

徳武（篠ノ井西部）：080-1202-0260／外谷（篠ノ井東部・情報担当）：080-8048-6602

※篠ノ井西部は、当面、寺澤・松坂・佐藤・外谷も対応致します。

佐藤（信更）：090-7179-9866／伊藤（松代）：080-2239-6816

松橋（川中島）：090-4816-6297／根津（更北）080-1203-8576

松澤（若穂）080-1191-5166／寺澤（全域・情報編集）：080-1188-5229

吉澤（全域・情報監修）：090-2543-0365

栽培に関しての電話対応は、担当地区関係なく対応できます。園地指導や地区組織関係のお問い合わせは、地区担当までお願い致します。

○果樹のアドバイザー（流通センター長兼務）松坂（篠ノ井西部）080-1188-4131

《栽培・販売に関する問合せ》各流通センター・共選所／営農販売部（本所）：292-0930

《資材に関する問合せ》各JAファーム・営農資材センター・経済部農業資材課：299-3311